

Graduate Seminars (Academic Year 2019)

Numbering	Language	Course Name	Course Name	Instructor	Instructor	Semester	Day	Period	Credit
EG-A801-S-00		演習	Seminar	阿部 修人	ABE Naohito	Year	Tue	1	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	有本 寛	ARIMOTO Yutaka	Year	Tue	4	6
EG-A801-S-00	English	演習	Seminar	石川 城太	ISHIKAWA Jota	Year	Thu	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	石倉 雅男	ISHIKURA Masao	Year	Fri	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	磯部 健志	ISOBE Takeshi	Year	Fri	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	今村 和宏	IMAMURA Kazuhiro	Year	Fri	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	祝迫 得夫	IWAISAKO Tokuo	Year	Wed	1	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	岩崎 一郎	IWASAKI Ichiro	Year	Fri	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	宇井 貴志	UI Takashi	Year	Tue	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	植杉 威一郎	UESUGI Iichiro	Year	Mon	3	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	臼井 恵美子	USUI Emiko	Year	Tue	2	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	宇南山 卓	UNAYAMA Takashi	Year	Mon	2	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	榎本 武文	ENOMOTO Takefumi	Year	Thu	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	大月 康弘	OTSUKI Yasuhiro	Year	Tue	2	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	岡田 羊祐	OKADA Yosuke	Year	Tue	3	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	岡部 智人	OKABE Tomohito	Year	Mon	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	岡室 博之	OKAMURO Hiroyuki	Year	Tue	3	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	奥田 英信	OKUDA Hidenobu	Year	Thu	1	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	小塩 隆士	OSHIO Takashi	Year	Thu	1	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	加納 隆	KANO Takashi	Year	Tue	1	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	神林 龍	KAMBAYASHI Ryo	Year	Mon	5	6
EG-A801-S-		演習	Seminar	北村 行伸	KITAMURA Yukinobu	Year	Mon	5	6

Course in Graduate Program

00									
EG-A801-S-00		演習	Seminar	雲 和広	KUMO Kazuhiro	Year	Tue	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	黒崎 卓	KUROSAKI Takashi	Year	Tue	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	黒住 英司	KUROZUMI Eiji	Year	Fri	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	桑名 陽一	KUWANA Yoichi	Year	Tue	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	後藤 玲子	GOTOH Reiko	Year	Mon	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	笹倉 一広	SASAKURA Kazuhiro	Year	Fri	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	佐藤 宏	SATO Hiroshi	Year	Thu	1	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	佐藤 主光	SATO Motohiro	Year	Mon	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	左三川 郁子	SAMIKAWA Ikuko	Year	Tue	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	塩路 悦朗	SHIOJI Etsuro	Year	Mon	1	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	陣内 了	JINNAI Ryo	Year	Tue	2	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	高久 玲音	TAKAKU Reo	Year	Thu	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	高柳 友彦	TAKAYANAGI Tomohiko	Year	Mon	2	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	高山 直樹	TAKAYAMA Naoki	Year	Tue	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	竹内 幹	TAKEUCHI Kan	Year	Mon	2	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	武岡 則男	TAKEOKA Norio	Year	Tue	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	田中 雅行	TANAKA Masayuki	Year	Thu	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	津田 照久	TSUDA Teruhisa	Year	Mon	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	都留 康	TSURU Tsuyoshi	Year	Thu	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	手島 健介	TESHIMA Kensuke	Year	Mon	2	6
EG-A801-S-00	English	演習	Seminar	富浦 英一	TOMIURA Eiichi	Year	Thu	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	友部 謙一	TOMOBE Kenichi	Year	Mon	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	中村 良太	NAKAMURA Ryota	Year	Thu	5	6
EG-A801-S-		演習	Seminar	中山 能力	NAKAYAMA Chikara	Year	Thu	2	6

Course in Graduate Program

00									
EG-A801-S-00		演習	Seminar	西出 勝正	NISHIDE Katsumasa	Year	Tue	3	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	橋沼 克美	HASHINUMA Katsumi	Year	Mon	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	深尾 京司	FUKAO Kyoji	Year	Fri	2	6
EG-A801-S-00	English	演習	Seminar	堀 雅博	HORI Masahiro	Year	Thu	3	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	本田 衛子	HONDA Eiko	Year	Tue	1	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	本田 敏雄	HONDA Toshio	Year	Thu	4	6
EG-A801-S-00	English	演習	Seminar	Philip C. MacLellan	Philip C. MacLellan	Year	Thu	3	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	増田 一八	MASUDA Kazuya	Year	Mon	1	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	真野 裕吉	MANO Yukichi	Year	Thu	3	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	望月 政志	MOCHIZUKI Masashi	Year	Tue	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	森 宜人	MORI Takahito	Year	Fri	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	森口 千晶	MORIGUCHI Chiaki	Year	Thu	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	森田 穂高	MORITA Hodaka	Year	Tue	1	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	山重 慎二	YAMASHIGE Shinji	Year	Fri	3	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	山下 英俊	YAMASHITA Hidetoshi	Year	Thu	2	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	山田 俊皓	YAMADA Toshihiro	Year	Thu	5	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	山本 庸平	YAMAMOTO Yohei	Year	Fri	3	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	渡辺 智之	WATANABE Satoshi	Year	Fri	4	6
EG-A801-S-00		演習	Seminar	渡部 敏明	WATANABE Toshiaki	Year	Mon	5	6

10. ゼミ履修案内

阿部 修人 ABE Naohito 総合経済学専攻 火曜 1時限

I. 主な担当科目

地域経済各論（日本）、上級マクロ経済学、応用マクロ経済学

II. 研究分野

マクロ経済学、日本経済論、家計消費、物価指数

III. 研究分野（英語表記）

Macroeconomics, Japanese Economy, Consumption Behavior, Price Index

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級レベル以上のミクロ、マクロ、計量経済学の知識を有していること。

V. ゼミ選考期間

3月。ゼミに参加希望のものは、極力早く、阿部まで連絡すること。

VI. 指導方針

原則として2年次から履修

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

中級か上級の計量経済学と上級マクロを履修していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

マクロ経済学のコンプに合格し、かつミクロ経済学か統計学・計量経済学のいずれかのコンプに合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

有本 寛 ARIMOTO Yutaka 総合経済学専攻 火曜 4時限

I. 主な担当科目

上級開発経済学 B

II. 研究分野

開発経済学、農業経済学、近代日本経済史

III. 研究分野（英語表記）

Development Economics, Agricultural Economics, Japanese Economic History

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

1. 研究活動や論文執筆にあたっての倫理、ルール、マナーを理解していること。日本学術振興会の『科学の健全な発展のために：誠実な科学者の心得』（<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>）を熟読しておくこと。さらに、図書館主催の「レポート・論文の書き方」講習会を受講していることが望ましい。
2. 研究課題が私自身指導可能であること（開発経済、農業経済、近代日本経済史）。
3. ミクロ経済学と計量経済学について大学院生として中級程度の知識をもっていること。
4. 定量的な分析をおこなう場合は、Stata や R などの統計処理アプリケーションで、基礎的なプログラミングが行えること。

5. 「ワークショップ／リサーチ・ワークショップ（日本・アジア経済）」を併せて履修すること。

V. ゼミ選考期間

2019年3月中にメール（arimotoy@ier.hit-u.ac.jp）で連絡し、志望動機と以下の要件を満たす研究計画書を送って下さい。

研究計画書の要件：

- 1) 修士論文のテーマ候補（関心事項）となる候補を3つ。
- 2) それぞれについて、(1) 目的・課題、(2) 背景・動機、(3) (可能なら) 利用可能なデータ、(4) 主な先行研究を示す（箇条書きでよい）。

その後、4月の履修届出期間中に個別面談を行います（成績表を用意すること）。

VI. 指導方針

修士1年次は、コースワークに集中することが望ましいので、原則聴講のみとします（単位は出しません）。

ゼミでは、関連する研究論文の輪読・プレゼンテーション、受講者自らの研究（経過）報告やディスカッションを行います。Powerpoint等の視覚資料の作り方や、プレゼンの仕方についても指導します。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

ミクロ経済学と計量経済学のコア科目、両方を履修・合格していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験（コンプ）の「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「統計学・計量経済学」の中の少なくとも2科目に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

開発経済学、農業経済学、日本経済史関連の科目（上級開発経済学、開発政策論、地域経済論、移行経済論、比較経済発展論、地域開発論など）を少なくとも1科目履修・合格していること。

X. 詳細リンク先 URL

なし

石川 城太 ISHIKAWA Jota 総合経済学専攻 木曜 4時限

I. 主な担当科目

国際経済学 I・II、上級国際経済学 I・II

II. 研究分野

国際貿易論

III. 研究分野（英語表記）

International Trade

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

研究者養成コース：上級ミクロ、上級マクロ、及び上級計量経済学の3科目

修士専修コース：上級ミクロ、上級マクロ、上級計量経済学の中から2科目、あるいは中級ミクロ、中級マクロ、及び中級計量経済学の3科目（中級レベルを上級レベルで代替することは可）

V. ゼミ選考期間

原則として入ゼミはM2から。入ゼミを希望する者は、M1の1月末までにメールで連絡すること。

VI. 指導方針

学生の自主性を重んじるが、専修コースの学生も研究者養成コースの学生のレベルにあわせて指導

する。富浦ゼミと合同でゼミを行う。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級ミクロ、上級マクロ、及び上級計量経済学で、平均 B 以上の成績。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験（ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学）において、2 科目以上にパスすること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

上級国際経済学 I（あるいは上級国際経済政策 I）、及び上級国際経済学 II で B 以上の成績

X. 詳細リンク先 URL

<http://www1.econ.hit-u.ac.jp/jota/>

石倉 雅男 ISHIKURA Masao 総合経済学専攻 金曜 5 時限

I. 主な担当科目

上級政治経済学 I・II、政治経済学、景気循環論、経済思想入門

II. 研究分野

マルクス派・ポストケインズ派の政治経済学

III. 研究分野（英語表記）

Political economy from Marxian and Post-Keynesian perspective

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

上記分野に強い関心を持つ大学院生

V. ゼミ選考期間

4 月中（履修登録期限まで）

VI. 指導方針

初年次から履修することが望ましいが、2 年次からの履修も受け入れる。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級政治経済学 I

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

政治経済学

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

特になし。

X. 詳細リンク先 URL

磯部 健志 ISOBE Takeshi 総合経済学専攻 金曜 5 時限

I. 主な担当科目

数理解析 I、現象数理、幾何学 I・II、古典解析

II. 研究分野

解析学（大域解析学、変分法、幾何解析）

III. 研究分野（英語表記）

Analysis (global analysis, variational methods, geometric analysis)

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

原則として1年次から履修すること。

V. ゼミ選考期間

当該年度の4月中（履修登録期限まで）。希望者は事前にメールで連絡すること。

VI. 指導方針

テキストの輪講等による。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

特になし。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

いずれか1科目以上に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

特になし。

X. 詳細リンク先 URL

今村 和宏 IMAMURA Kazuhiro 総合経済学専攻 金曜 4時限

I. 主な担当科目

経済学研究の日本語

II. 研究分野

社会科学系専門日本語、日本語教授法

III. 研究分野（英語表記）

Technical Japanese in Social Sciences, Methodology in Japanese Teaching

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

上級後期レベル以上の専門分野に関する日本語能力

V. ゼミ選考期間

特になし。

VI. 指導方針

参加者とともに協議の上、決定する。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

特になし。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

特になし。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

特になし。

X. 詳細リンク先 URL

祝迫 得夫 IWASAKO Tokuo 総合経済学専攻 水曜 1時限

I. 主な担当科目

資産価格の実証分析 (ICS)、上級マクロ経済学、中級マクロ経済学

II. 研究分野

ファイナンス、実証マクロ

III. 研究分野 (英語表記)

Financial Economics, Empirical Macro

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

1年生も参加は自由ですが、コースワークに専念してもらうため単位としての履修は2年生のみとします。M2でのゼミ参加を希望するM1の学生には、できれば秋冬学期に開講される「計量ファイナンス特論D」(ただし夜の時間帯に千代田キャンパスでの開講、経営管理研究科の授業名は「資産価格の実証分析」)を1年生の間に履修しておくことを勧めます。

V. ゼミ選考期間

2019年度は1年間、サバティカル(研究休暇)なので、2020年3月に学位取得・卒業を希望する修士の院生の受け入れは行いません。M1・博士の院生をゼミに受け入れるかどうかに関しては個別に対応しますので、希望者は連絡を下さい。

VI. 指導方針

詳細は教員個人ホームページの当該ページを参照のこと。

標語:「来るもの拒まず、去るもの追わず」、「面白いかどうかは人に聞け」

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件 (コア科目)

上級ミクロ・マクロ・計量のうち少なくとも二つ以上をB以上で合格。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件 (進学資格試験・編入学試験)

ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学のうち少なくとも二つ以上のコンプに合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件 (その他の科目)

*独力で実証研究を行う能力があり、なおかつ博士論文の少なくとも一章を実証分析で書く意思のあるもの。

*上級マクロ以外の祝迫の担当科目(ゼミを含む)を、少なくとも一つ履修していること。

X. 詳細リンク先 URL

<https://sites.google.com/site/tokuoiwaisako/courses>

岩崎 一郎 IWASAKI Ichiro 総合経済学専攻 金曜 4時限

I. 主な担当科目

地域経済各論(ロシア・中東欧)、移行経済論、経済体制特論、ロシア・中東欧ワークショップ

II. 研究分野

移行経済論(主な研究対象国:ロシア連邦、中東欧諸国、中央アジア諸国)、比較経済体制論、比較企業システム論(コーポレート・ガバナンス)、経済制度論、法と経済、メタ分析(担当者のより具体的な研究活動の内容は、詳細リンク先 URL を参照)

III. 研究分野（英語表記）

Transition Economies (Russia, Eastern Europe, Central Asia), Comparative Economics, Comparative Analysis of Corporate Systems, Economic Institutions, Law and Economics, Meta-Analysis

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

移行経済論ないし比較経済論の分野で修士号の取得を目指す学生。

V. ゼミ選考期間

毎年4月、履修登録期間締切前日まで。

VI. 指導方針

初年次からの履修。修士の場合も同様。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級ミクロ経済学、上級マクロ経済学、上級計量経済学の中から1～2科目を履修していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

政治経済学の進学資格試験に合格していること。さらに、ミクロ経済学ないし統計学・計量経済学の進学資格試験にも合格しているとなおよい。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

研究対象国（地域）の言語を相当程度修得していること。

X. 詳細リンク先 URL

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/faculty/iwasaki.html>

宇井 貴志 UI Takashi 総合経済学専攻 火曜 4時限

I. 主な担当科目

ゲーム理論 I

II. 研究分野

ミクロ経済学、ゲーム理論

III. 研究分野（英語表記）

microeconomics and game theory

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

上級ミクロ経済学を履修済みであること。10本以上のゲーム理論に関する専門論文を読み終え、5本以上については内容を完全に理解していること。

V. ゼミ選考期間

希望者は履修登録前に事前にメールでアポイントメントをとり、個別に面接を受けること。

VI. 指導方針

ミクロ経済学やゲーム理論の理論研究に興味のある学生を指導する。学生が自立した研究姿勢をもてるように、ゼミの内容についても、学生の自主性を最大限に尊重する。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級ミクロ経済学、上級マクロ経済学、上級計量経済学

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

<https://sites.google.com/site/takashiui/>

植杉 威一郎 UESUGI Ichiro 総合経済学専攻 月曜 3時限

I. 主な担当科目

応用マクロ経済学 E

II. 研究分野

企業金融、中小企業、日本経済

III. 研究分野（英語表記）

Corporate Finance and Banking, Small and Medium Enterprises, Japanese Economy

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級レベル以上のミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学の知識を有していること。

V. ゼミ選考期間

2019年3月中にメール (iuesugi@ier.hit-u.ac.jp) で連絡し、以下の要件を満たす研究計画書を提出して、面談のアポイントメントを取って下さい。3月中に個別に面談します。成績表も用意してください。

- ・修士論文のテーマ候補（複数が望ましい）
- ・それぞれについて、目的、背景、研究方法、主な先行研究のリストを示す。

VI. 指導方針

原則として2年次から履修。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級マクロ経済学、上級ミクロ経済学、上級もしくは中級計量経済学を履修していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

ミクロ経済学、マクロ経済学または統計学・計量経済学の進学資格試験に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

臼井 恵美子 USUI Emiko 総合経済学専攻 火曜 2時限

I. 主な担当科目

上級労働経済学 II

II. 研究分野

労働経済学

III. 研究分野（英語表記）

Labor Economics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

ミクロ経済学のコア科目、及び、計量経済学のコア科目の両方を履修し、合格していること。

V. ゼミ選考期間

履修登録期限まで（事前に面談のうえ決定。メールでアポイントメントを取ってください：
usui@ier.hit-u.ac.jp）

VI. 指導方針

各自の研究テーマに沿って、関連する論文を検討したり、各自の論文を指導する。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

ミクロ経済学のコア科目、及び、計量経済学のコア科目の両方を履修し、合格していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験（コンプ）の「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「統計学・計量経済学」の中の少なくとも2科目に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

宇南山 卓 UNAYAMA Takashi 総合経済学専攻 月曜 2時限

I. 主な担当科目

比較統計システム論、経済データ分析論

II. 研究分野

マクロ経済学、応用計量経済学、ミクロ計量経済学、日本経済論

III. 研究分野（英語表記）

Macroeconomics, Applied Econometrics, Microeconometrics, Japanese Economy

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級以上のミクロ、マクロ、計量経済学の知識を持っていること。コンピュータの操作が十分できること。また、本年度は8月まで在外研究期間であるため、前期は論文講読を中心として遠隔での指導となる。

V. ゼミ選考期間

4月中（履修登録期限まで）

選考はメールで行う。

履修希望者は早めに連絡をすること。

VI. 指導方針

自ら実証分析をする者のみ履修を認める。日本経済の分析を希望するもの（特に研究者志望者）の履修を歓迎する。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

中級以上のミクロ、マクロ、計量経済学の科目を履修し、すべてB以上の成績をあげていること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学の進学資格試験（コンプ）を受験し、少なくとも2科目に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

榎本 武文 ENOMOTO Takefumi 総合経済学専攻 木曜 5時限

I. 主な担当科目

経済文化（英米）、各国経済思潮

II. 研究分野

ルネサンス期における人文主義・修辞学・古典学研究

III. 研究分野（英語表記）

Humanism, rhetoric and classical studies in the Renaissance

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

形式的な履修要件は特にない。

V. ゼミ選考期間

4月中旬

VI. 指導方針

[春・夏学期]

キケロの書簡集抜粋をラテン語で講読する。テキストは Cicero, *Select Letters*, ed. D. R. Shackleton Bailey (Cambridge Greek and Latin Classics, Cambridge, 1980)を用いる。昨年度春・夏学期に終えたところ（書簡 23）から続けて読む。

[秋・冬学期]

小プリニウス『書簡集 第2巻』（C. Plini Caecili Secundi Epistularum liber secundus）をラテン語で講読する。テキストは Pliny the Younger, *Epistles Book II*, ed. Christopher Whitton (Cambridge Greek and Latin Classics, Cambridge, 2013)を用いる。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

なし

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

なし

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

なし

X. 詳細リンク先 URL

大月 康弘 OTSUKI Yasuhiro 総合経済学専攻 火曜 2時限

I. 主な担当科目

経済史入門、文明史、経済史 A、比較経済史、等

II. 研究分野

西洋経済史、西洋中世史、ビザンツ学、地中海地域研究

III. 研究分野（英語表記）

European Economic History, European Medieval History, Byzantine Studies, Mediterranean Area Studies

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

1年次よりの登録・履修を基本とする。参加者は特定の地域に即した実証分析を行うことを前提とし、当該研究に必要な言語読解能力を有することが参加の条件である。

V. ゼミ選考期間

希望者は履修登録前に事前に連絡を入れ、個別に面接を受けること。

VI. 指導方針

ゼミでは、各人の地域・歴史研究の成果報告を交えながら、経済史、地域研究の方法・概念について議論・研究します。議論と参考文献の閲読を通じて、比較経済史の方法が体得されるよう指導し

ます。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

比較経済史に合格していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

経済史に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

岡田 羊祐 OKADA Yosuke 総合経済学専攻 火曜 3時限

I. 主な担当科目

技術経済学、上級技術経済学 I、産業・労働ワークショップ

II. 研究分野

産業組織論・競争政策、規制政策、イノベーション政策に関する実証研究

III. 研究分野（英語表記）

Empirical studies on industrial organization, competition policy, innovation policy, and regulatory policy

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級ミクロ経済学および中級計量経済学と同程度の学力が十分にあると認められること。ゼミ履修の対象者は、データを利用した実証研究を修士論文のテーマとする者に限る。

V. ゼミ選考期間

修士課程 1 年次から履修すること。履修を希望する学生は、4 月 8 日（月）までにメール（yookada@econ.hit-u.ac.jp）で面接のアポイントメントを取得すること。面接の際には、履歴書及び修士課程入学試験の際に提出した研究計画書を持参すること。4 月 9 日（火）15 時から学籍番号順に面接を行う。

VI. 指導方針

修士 1 年次は、主に修士論文の準備作業（テーマの決定・データの収集など）を行う。修士 2 年次は、履修者による研究報告を中心とするが、適宜、関連するテーマのレクチャーや論文作成指導を行う。博士後期課程の学生は月に 1 回程度、研究経過報告を行ってもらい、9 月上旬にゼミ合宿（1 泊 2 日）を行う。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級ミクロ経済学および上級計量経済学を B 以上の成績で合格していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験（ミクロ経済学または統計学・計量経済学）に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

上級技術経済学 I、上級産業経済学 I、上級労働経済学 I を履修していることが望ましい。

X. 詳細リンク先 URL

岡部 智人 OKABE Tomohito 総合経済学専攻 月曜 5 時限

I. 主な担当科目

応用ミクロ経済学 B

II. 研究分野

実証政治経済学、財政学

III. 研究分野（英語表記）

Positive Political Economics, Public Finance

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

大学院レベルのミクロ経済学及び計量経済学の知識があること。実証政治経済の研究（例えば、内生的政策決定等）に興味があること。

V. ゼミ選考期間

4 月の履修登録期限まで。面談をするので、研究したいテーマについての簡潔な説明を添えて、期限内に余裕をもってメールで連絡のこと。

VI. 指導方針

各自のテーマにあわせて研究指導を行う。具体的な内容については履修者と相談の上、決定する。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

岡室 博之 OKAMURO Hiroyuki 総合経済学専攻 火曜 3 時限

I. 主な担当科目

上級産業経済学 I、上級産業経済学 II、産業・労働ワークショップ

II. 研究分野

産業組織論、企業経済学（とくに中小企業・新規開業とイノベーションの経済分析）

III. 研究分野（英語表記）

Empirical industrial organization, Research in entrepreneurship, small business, innovation, and regional policy

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

少なくとも中級以上の「ミクロ経済学」と「計量経済学」を履修済みであること。400 番台の「上級産業経済学 I」を履修済みであることが望ましい。

V. ゼミ選考期間

修士課程については 1 年次の年度末（2020 年 3 月）。希望者は 2 月末までに電子メールで連絡すること（博士後期課程からの参加についても 2 月末までに相談すること）。具体的な面談の日時は応募者と個別に取り決める。研究計画書と成績表を用意すること。

連絡先は、okamuro@econ.hit-u.ac.jp である。

VI. 指導方針

5 年一貫コースの者を除き、原則として修士 1 年次の履修を認めない。ゼミでは修士論文に向けての研究指導を行う。また、履修者は「産業・労働ワークショップ」に参加し、研究報告を行うこと

を求められる。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

中級以上（上級が望ましい）の「ミクロ経済学」と「計量経済学」を B 以上の成績で履修済みであること。編入学の場合にも、同様の内容と水準の科目を優秀な成績で履修済みであること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

ミクロ経済学ないし統計学・計量経済学の科目の試験に合格すること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

上級産業経済学 I ないしそれと同等の内容と水準を持つ科目を優秀な成績で履修済みであること。

X. 詳細リンク先 URL

<http://www1.econ.hit-u.ac.jp/okamuro/english.html>

奥田 英信 OKUDA Hidenobu 総合経済学専攻 木曜 1 時限

I. 主な担当科目

国際経済開発論 I・II、特別講義（アジア開発金融論）、開発経済学 A

II. 研究分野

開発金融論、アジア諸国の金融分析（銀行経営効率、銀行市場競争度、マイクロ・ファイナンス機関の経営効率、企業資金調達、企業投資行動）アジア諸国の開発金融政策、カンボジア中央銀行-JICA のドル化共同研究

III. 研究分野（英語表記）

Economic Policy Research jointly conducted with National Bank of Cambodia and JICA, Development Financing, Banking Industries and Corporate Financing in ASEAN Countries, Financial Development and Economic Growth in ASEAN Countries

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

修士課程の 1 年次に、コア科目から 2 科目以上を履修すること。

V. ゼミ選考期間

修士課程の 2 年生のみ。3 月末日まで、随時、受け付けています。希望者は、メールで連絡してください。

2019 年度は、1. 銀行市場の競争度、2. 企業の資金調達、3. 銀行の資本構成の決定要因、4. ドル化研究、の論文作成と関連文献の検討。

VI. 指導方針

共同研究の形で、カンボジア中央銀行との調査データを利用したマイクロ実証分析を軸にして、論文作成、学会報告、投稿を行っています。

2019 年度もカンボジア企業個票データを利用した実証分析を行っています。参加歓迎。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

本ゼミ生としては、修士課程 2 年生のみの募集とします。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

本ゼミ生としては、修士課程 2 年生のみの募集とします。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

本ゼミ生としては、修士課程 2 年生のみの募集とします。

X. 詳細リンク先 URL

小塩 隆士 OSHIO Takashi 総合経済学専攻 木曜 1 時限

I. 主な担当科目

公共支出論

II. 研究分野

公共経済学

III. 研究分野 (英語表記)

Public Economics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

大学院初年度で学ぶべき基礎的なミクロ経済学、公共経済学 (財政学)、計量経済学の知識を習得済みであること。

事前に面接を行い、研究目的を説明してもらいますので、A4 用紙 1~2 枚で研究計画・参考文献リストなどをまとめておいてください。(oshio@ier.hit-u.ac.jp 宛てにメールし、アポイントメントをとってください)。

V. ゼミ選考期間

4 月履修登録期限まで

VI. 指導方針

テーマ=公共経済学の諸問題

進め方=具体的な進め方は受講者と相談して決めるが、社会保障、所得分配、教育経済学、社会疫学など公共経済学に関連する分野から興味のあるテーマを各受講者に選んでもらい、代表的な先行研究のサーベイ、受講者自らの研究報告やディスカッション、論文執筆を課す予定。

単位評価の方法=論文 (できるだけ英文) 80%+毎週の授業への貢献度 20%

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件 (コア科目)

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件 (進学資格試験・編入学試験)

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件 (その他の科目)

X. 詳細リンク先 URL

加納 隆 KANO Takashi 総合経済学専攻 火曜 1 時限

I. 主な担当科目

上級マクロ経済学

II. 研究分野

マクロ経済学、国際金融論、実証マクロ経済学

III. 研究分野 (英語表記)

Macroeconomics, International Finance, Macroeconometrics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

「上級マクロ経済学」、「上級ミクロ経済学」、「上級計量経済学」のすべての科目について A 以上で合格し、かつ研究課題がマクロ経済学および国際金融論に関する実証研究で、私自身指導可能と思われる場合に限る。修士 1 年次はコースワークに集中することが望ましいので、修士 1 年目の履修は原則許可しない。

V. ゼミ選考期間

修士2年目の進学時。

VI. 指導方針

修士課程の学生には、春・夏学期には研究課題に関する主要な先行研究のサーベイおよびデータの収集をしたうえで学生各自の研究計画の作成とその報告、秋・冬学期には学生各自の研究成果の報告をしてもらいます。博士後期課程の学生への指導は面談の上個別に決めます。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

「上級ミクロ経済学」、「上級マクロ経済学」、「上級計量経済学」のすべての科目についてA以上で合格し、かつ研究課題がマクロ経済学および国際金融に関するもので、私自身指導可能と思われる場合に限る。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験の「マクロ経済学」、および「ミクロ経済学」か「統計学・計量経済学」のうちどちらかに合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

学部300番台の「金融ファイナンスBI、II」に該当する学部レベルの国際金融論の講義におけるA以上の成績取得が望ましい。

X. 詳細リンク先 URL

神林 龍 KAMBAYASHI Ryo 総合経済学専攻 月曜 5時限

I. 主な担当科目

労働経済学I・II

II. 研究分野

労働経済学

III. 研究分野（英語表記）

Labor Economics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

ミクロ経済学のコア科目（上級ミクロ経済学または中級ミクロ経済学）および計量経済学のコア科目（上級計量経済学または中級計量経済学）の両方を履修し、合格していること。上記コア科目などすでに十分単位を取っている学生、あるいはすでに独自の研究を行えると思われる者は、初年次からの履修を認める。

V. ゼミ選考期間

年度の初め（2週間）

VI. 指導方針

各自のテーマに合わせて、関連する論文を読んだり、作成中の論文について指導する。テーマが未定の場合は、決定するまでこちらの用意する文献を輪読の対象としたい。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

コンプに関する条件を満たしていれば問わない。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験（コンプ）の「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「統計学・計量経済学」の3科目のうち少なくとも2科目に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

コンプに関する条件を満たしていれば問わない。

X. 詳細リンク先 URL

北村 行伸 KITAMURA Yukinobu 総合経済学専攻 月曜 5時限

I. 主な担当科目

比較統計システム論

II. 研究分野

マクロ経済学、応用計量経済学、ミクロ計量経済学、公共経済学、金融財政論

III. 研究分野（英語表記）

Macroeconomics, Applied Econometrics, Microeconometrics, Public Economics, Monetary Economics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級以上のミクロ、マクロ、計量経済学の知識を持っていること。コンピュータの操作が十分できること。

V. ゼミ選考期間

4月中（履修登録期限まで）

VI. 指導方針

原則として初年次の学生の履修を認めない。ただし、コア科目などすでに十分単位を取っている学生、および既に独自の研究を行えると思われるものは、初年次からの履修を認める場合もある。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

中級以上のミクロ、マクロ、計量経済学の科目を履修し、すべて B 以上の成績をあげていること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学の進学資格試験（コンプ）を受験し、少なくとも 2 科目に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

特になし。

X. 詳細リンク先 URL

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/~kitamura>

雲 和広 KUMO Kazuhiro 総合経済学専攻 火曜 4時限

I. 主な担当科目

地域経済各論（ロシア・中東欧）、移行経済論、経済体制論、新興市場経済論他

II. 研究分野

ソ連・ロシア経済論（経済地理、地域経済、人口移動、産業立地、人口動態、労働経済、地域開発、都市経済）

III. 研究分野（英語表記）

Soviet/Russian Economy, Economic Geography, Regional Economics, Population Migration, Industrial Location, Population Dynamics
(Local Finance, Labor Economics, Regional Development, Urban Economics, Trade Policy)

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

ソ連・ロシア・中東欧等移行経済に関わる内容の修士論文作成を意図していること。

V. ゼミ選考期間

4月中（履修登録期限まで）。

VI. 指導方針

担当教員による指導を希望する学生は、岩崎一郎教授（経済研究所）ゼミナールに必ず出席すること。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

中級以上のミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学のうち最低 1 科目の単位を取得していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学のうち最低 1 つの資格試験に合格すること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

研究対象国（地域）の言語を相当程度修得していること。

X. 詳細リンク先 URL

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/~kumo/>

黒崎 卓 KUROSAKI Takashi 総合経済学専攻 火曜 4時限

I. 主な担当科目

開発経済論、開発政策論

II. 研究分野

開発経済学、アジア経済論

III. 研究分野（英語表記）

Development Economics, Asian Economies

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

ミクロ経済学と計量経済学について大学院生として中級程度の知識をもっていること。

V. ゼミ選考期間

2019年4月の履修届出期間

VI. 指導方針

修士の1年次はコア科目等の取得に集中し、ゼミは聴講のみ（単位を出さない）で、単位を出す履修としての研究指導は、コア科目等を通じて必要な基礎知識を取得した後、通常は修士2年次より行なう。研究準備が十分にできている場合には修士1年次から履修登録を認める。いずれにしても修士1年次のゼミ履修期間から担当教員にコンタクトを始めること。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

ミクロ経済学と計量経済学のコア科目、両方を履修・合格していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験（コンプ）の「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「統計学・計量経済学」の中の少なく

とも2科目に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

黒住 英司 KUROZUMI Eiji 総合経済学専攻 金曜 4時限

I. 主な担当科目

上級計量経済学、中級計量経済学、計量経済学特論 A

II. 研究分野

時系列分析、計量経済学、パネルデータ分析

（すべて、理論の研究が中心である）

III. 研究分野（英語表記）

Time Series Analysis, Econometrics, Panel Data Analysis

(Theoretical Econometrics)

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

統計学および計量経済学の基礎的な理論を理解していること。とくに、解析学（微積分など）および線形代数（行列の階数、固有値など）、数理統計学（最尤法などの理解）、行列表記の計量経済学の理解を必須条件とする。なお、原則として修士1年からゼミに所属するのが条件である。

V. ゼミ選考期間

2019年4月2日～9日の間にメールでアポイントメントを取ること。その後、面談の日程を決める。

VI. 指導方針

修士1年ではテキストの輪読、2年次以降は関連文献を読み、報告する。なお、履修登録上、ゼミは金曜日4限であるが、修士1年のゼミは、実際には別の曜日・時限に開催する予定である。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

「上級計量経済学」がB以上であること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

「統計学・計量経済学」の進学資格試験に合格すること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

「上級統計学Ⅰ・Ⅱ」および「確率論Ⅰ・Ⅱ」がB以上であることが望ましい。これらの科目の履修は必要要件ではないが、博士後期課程修了までには履修することを強く勧める。

X. 詳細リンク先 URL

<http://www1.econ.hit-u.ac.jp/kurozumi/index.html>

桑名 陽一 KUWANA Yoichi 総合経済学専攻 火曜 5時限

I. 主な担当科目

上級統計学Ⅰ・Ⅱ、確率論Ⅰ・Ⅱ、確率・統計特論 など

II. 研究分野

統計学

III. 研究分野（英語表記）

statistics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

学部レベルの解析学（集合・位相を含む）・線形代数および統計学（基礎的確率論を含む）をマスターしていること。コンピュータ・プログラムを不自由なく書けること。

V. ゼミ選考期間

4月中旬（履修登録期限まで）

VI. 指導方針

初年次からの履修とする。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級計量経済学、上級ミクロ経済学、上級マクロ経済学のうち2科目をB以上の成績でパスすることが必要条件。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学のうち2科目。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

上級統計学IおよびII（あるいは同等の東大開講科目）、確率論IおよびII（あるいは同等の東大開講科目）をB以上の成績でパスすることが必要条件。ただし十分条件ではない。

X. 詳細リンク先 URL

後藤 玲子 GOTOH Reiko 総合経済学専攻 月曜 5時限

I. 主な担当科目

比較経済システム論

II. 研究分野

経済学&哲学、厚生経済学&規範経済学、政治経済学

III. 研究分野（英語表記）

Economics & Philosophy, Welfare Economics & Normative Economics, Political Economics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

- ・「制度化された経済学」の背後にある思想、哲学を探究したい人
- ・特定の経済思想・社会思想・政治思想（家）について、社会科学総合の視点から多角的に検討したい人
- ・ひとの権利や福祉に関わる多様な経済現象、平等や自由、正義や民主主義に関わる社会問題、あるいは、制度政策のあり方について経済・哲学の視点から広く分析したい人
- ・近年であれば、ワークライフバランスやベーシックインカム、公共的相互性などの概念が経済学のホットイシューとして注目される。それらを批判的に展開し、制度構築に結び付けたい人

V. ゼミ選考期間

希望者は3月～4月（履修登録期限まで）。できればメール等の方法で連絡すること。
reikogotoh@ier.hit-u.ac.jp

VI. 指導方針

研究の要は、現象の構造を抽出すること、豊かな現象記述をもとに、それらを紡ぐ概念を発見する

こと。「概念」は、通常の記述的な言葉とはちがって、それ自体は豊かな現象の骸骨でありながら、豊かな現象を内に含むものである。それはなかなか現れない。さまざまな現象を記述し、分析する対抗的な議論を読み、比べ、統合する中で、突如、見えてくる。思考と関心の持続性が要求される。中間生産物の産出により一定の業績をカウントしつつも、理論化する作業への志向性を失わずにいられるか。それを失わないということが、専門家として研究するということだと私は考える。その志向性を支える指導を行う。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

コア科目は、とくに指定しません。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

笹倉 一広 SASAKURA Kazuhiro 総合経済学専攻 金曜 5時限

I. 主な担当科目

各国経済思潮

II. 研究分野

中国古典文学

III. 研究分野（英語表記）

Chinese classics (literature)

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

原則として、中国語既習者であることが望ましい。

V. ゼミ選考期間

4月中（履修登録期限前）

VI. 指導方針

中国古典文学の精読。

または、ゼミテンの研究課題に即した文献講読。

副専攻で、中国古典文学を学びたい者も歓迎する。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

なし

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

なし

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

なし

X. 詳細リンク先 URL

佐藤 宏 SATO Hiroshi 総合経済学専攻 木曜 1時限

I. 主な担当科目

地域経済論 A・B・C、東アジア経済特論、地域研究方法論

II. 研究分野

地域研究（東アジア）

III. 研究分野（英語表記）

Area Study（East Asia）

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

修士1年次からの履修を要件とする。

V. ゼミ選考期間

2019年度は、新規受け入れを行わない。

VI. 指導方針

史資料を丹念に読み、データを着実に収集したうえで実証分析を進める姿勢を重視する。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

経済学研究科履修規定の進学・編入学要件を満たしていること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験のいずれか1科目以上に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

対象地域の経済・社会・歴史に深い理解をもち、かつ研究上必要な言語および実証分析手法を十分に修得していること。

X. 詳細リンク先 URL

佐藤 主光 SATO Motohiro 総合経済学専攻 月曜 5時限

I. 主な担当科目

公共経済学 I・II

II. 研究分野

税制、社会保障、地方財政論

III. 研究分野（英語表記）

Tax, Social Security and Local public finance

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級以上のミクロ経済学、マクロ経済学の2科目を履修し、各科目「B」以上の成績をおさめていること。中級以上の計量経済学を履修し、「B」以上の成績をおさめていることが望ましい。

V. ゼミ選考期間

4月9日まで（予め satom@econ.hit-u.ac.jp まで連絡のこと）

VI. 指導方針

原則として初年次からの履修を認めない。ただし、すでに独自の研究を行えると思われるものは、初年次からの履修を認める場合もある。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

①「上級ミクロ経済学」および「上級マクロ経済学」、②中級あるいは上級計量経済学のいずれか1

科目、合計 3 科目以上を履修していること。すべての科目にわたって「B」以上の成績をおさめていること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学の中から 2 科目について合格すること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

「公共経済学 I、II」を履修し、「B」以上の成績をおさめていること。

X. 詳細リンク先 URL

左三川 郁子 SAMIKAWA Ikuko 総合経済学専攻 火曜 4 時限

I. 主な担当科目

II. 研究分野

金融論、金融政策

III. 研究分野（英語表記）

Banking and Monetary Policy

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

V. ゼミ選考期間

当該年度 4 月の履修登録期限まで。希望者は登録前に面接を受けて下さい。

VI. 指導方針

副ゼミとして開講します。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

塩路 悦朗 SHIOJI Etsuro 総合経済学専攻 月曜 1 時限

I. 主な担当科目

マクロ経済学 II（学部 300 番台）など

II. 研究分野

マクロ経済学

III. 研究分野（英語表記）

Macroeconomics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

研究者養成コースについては、上級ミクロ、上級マクロ、中級（または上級）計量のすべての科目で B 以上の者（もしくは、それに相当する学力を有する者）とする。また、これらのいずれかで A を取得した者を優先する。

修士専修コースについては、中級以上のミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学に良好な成績で合格した者（もしくは、それに相当する学力を有する者）とする。

いずれの場合も、英語文献をいとわない者を優先する。さらに、研究課題が私自身指導可能と思われる場合に限る。

V. ゼミ選考期間

修士2年目の進学時。場合によっては、1年目後半からの聴講（履修ではない）を認めることもある。1年目、特に前半はコースワークに専念すべきと考える。

VI. 指導方針

学生の自発的な研究意欲を前提とする。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級マクロ、上級ミクロ、中級（または上級）計量。後期課程1年次末までに上級計量を履修していることが望ましい。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

マクロ経済学または統計学・計量経済学の進学資格試験に合格のこと。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

陣内 了 JINNAI Ryo 総合経済学専攻 火曜 2時限

I. 主な担当科目

上級マクロ経済学

II. 研究分野

マクロ経済学

III. 研究分野（英語表記）

Macroeconomics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級以上のミクロ、マクロ、計量経済学の知識を持っていること。

V. ゼミ選考期間

履修登録前に事前にEメールでアポイントメントをとり、個別に面接を受けること。

VI. 指導方針

コア科目の履修を終えた研究者志望の大学院生を主な対象とする。学生に、自身の研究内容や関係の深い関連文献の内容を時間厳守で発表させる。定期的な発表機会とフィードバックを通じて、論文を書き上げて専門誌に投稿すること、プレゼンテーション技術を向上させることを目指す。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級マクロ、上級ミクロ、上級計量

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

マクロ経済学の進学資格試験に合格のこと。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

上級ミクロ、上級マクロ、上級計量のすべての科目についてB以上で合格し、かつ、研究課題が私自身指導可能な場合。

X. 詳細リンク先 URL

高久 玲音 TAKAKU Reo 総合経済学専攻 木曜 4 時限

I. 主な担当科目

II. 研究分野

医療経済学、社会保障論

III. 研究分野（英語表記）

Health Economics, Social Security

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級レベル以上のミクロ経済学と計量経済学の知識を持っていること。

V. ゼミ選考期間

4月中旬（履修登録期限まで）にメールでアポイントメントを取り、面接を受けること。

VI. 指導方針

データを用いて政策分野に関する実証研究を行うこと。各大学院生の修士論文、博士論文に向けた研究報告を中心に指導する。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

高柳 友彦 TAKAYANAGI Tomohiko 総合経済学専攻 月曜 2 時限

I. 主な担当科目

経済史 C、基礎ゼミ

II. 研究分野

近現代日本経済史

III. 研究分野（英語表記）

Modern Japanese Economic History

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

近現代日本を対象とした社会経済史の分野で修論、博論を執筆しようと考えている学生

V. ゼミ選考期間

4月最初のゼミにて決定

VI. 指導方針

個々のテーマに沿った実証的な研究を行うため、先行研究の検討や史料発掘等を修士1年次からすすめていきます。

ゼミでは前期に文献輪読を予定しています。

今年度は、近現代日本経済史の基礎文献を輪読します。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

「比較経済史」を履修していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

なし

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

なし

X. 詳細リンク先 URL

高山 直樹 TAKAYAMA Naoki 総合経済学専攻 火曜 4時限

I. 主な担当科目

II. 研究分野

マクロ経済学

III. 研究分野（英語表記）

Macroeconomics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級以上のマクロ経済学、ミクロ経済学及び計量経済学の知識があること。研究関心が私の指導で
きる範囲にあること。

V. ゼミ選考期間

4月中（履修登録期限まで）

VI. 指導方針

学生に自身の研究や重要な先行研究について発表させる。発表中に随時行う質疑を通じて、研究に
必要な思考とコミュニケーションの訓練を行う。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級マクロ経済学、上級ミクロ経済学及び上級計量経済学の全てを B 以上の成績で合格している
こと。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

マクロ経済学の進学資格試験に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

竹内 幹 TAKEUCHI Kan 総合経済学専攻 月曜 2時限

I. 主な担当科目

Public Economics（公共経済学）, Experimental Economics（実験経済学）

II. 研究分野

実験経済学、行動経済学

III. 研究分野（英語表記）

Experimental Economics, Behavioral Economics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

Work hard. Capable of reading research papers independently.

V. ゼミ選考期間

February through early April. Contact me via e-mail, please attach your cv, your transcript,

short bio, working sample if any, and your research idea. Japanese is preferable if you are a native speaker of Japanese; English otherwise.

VI. 指導方針

Two options. 1) You work hard by yourself and I support you. or 2) You work as my co-researcher and work hard, of course. NOTE: "Monday 2nd" is currently tentative, meeting schedule is to be determined in April.

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件 (コア科目)

Advanced Microeconomics

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件 (進学資格試験・編入学試験)

Microeconomics

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件 (その他の科目)

Microeconomics

X. 詳細リンク先 URL

<https://sites.google.com/view/takekan/home>

武岡 則男 TAKEOKA Norio 総合経済学専攻 火曜 4 時限

I. 主な担当科目

上級ミクロ経済学、上級理論経済学 I

II. 研究分野

公理的意思決定理論、ミクロ経済学

III. 研究分野 (英語表記)

Axiomatic Decision Theory, and Microeconomics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

「上級ミクロ経済学」を B 以上で合格しているか、それと同等の能力があると認められること。さらに、専門論文を読みこなすのに十分な微積分、線形代数、確率・統計の知識を有すること。

V. ゼミ選考期間

履修登録前に事前に E メールでアポイントメントをとり、個別に面接を受けること。

VI. 指導方針

意思決定モデルの公理的分析と、そのミクロ経済学やゲーム理論への応用に興味のある学生を指導する。学生の論文発表によりゼミを進める。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件 (コア科目)

上級ミクロ経済学、上級マクロ経済学、上級計量経済学のすべての科目について B 以上で合格し、かつ、研究課題が私自身指導可能な場合。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件 (進学資格試験・編入学試験)

ミクロ経済学

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件 (その他の科目)

400 番台の上級理論経済学やゲーム理論などを B 以上で合格していること。または、それと同等の能力があると認められること。

X. 詳細リンク先 URL

4 月以降に案内する。

田中 雅行 TANAKA Masayuki 総合経済学専攻 木曜 4時限

I. 主な担当科目

II. 研究分野

社会統計学、二次的利用、プロジェクトマネジメント

III. 研究分野（英語表記）

Social Statistics, Secondary use, Project Management

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

公的統計・二次的利用に関するデータ作成・集計等に問題意識がある履修生。なお、匿名データ等の利用制約のため、研究室で演習を行います。

V. ゼミ選考期間

履修期間 ※個別に面談を行いますので、4月上旬までに電子メールで連絡すること。

VI. 指導方針

公的統計・二次的利用に関する各自の問題意識に応じた指導を予定しています。また、必要に応じて、プロジェクトマネジメントに関する指導も行う。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

津田 照久 TSUDA Teruhisa 総合経済学専攻 月曜 5時限

I. 主な担当科目

解析学 I・II、幾何学 I・II、数理解析 I・II、応用数理、古典解析

II. 研究分野

解析学（複素領域の微分方程式論、可積分系、特殊函数）

III. 研究分野（英語表記）

Analysis (differential equations in the complex domain, integrable systems, special functions)

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

原則として1年次から履修すること。

V. ゼミ選考期間

当該年度の4月中（履修登録期限まで）

VI. 指導方針

テキストの輪読等による。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

履修規定に従う。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

いずれか1科目以上に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

特になし。

X. 詳細リンク先 URL

都留 康 TSURU Tsuyoshi 総合経済学専攻 木曜 5時限

I. 主な担当科目

人的資源論

II. 研究分野

人事経済学、労働経済学、労使関係論

III. 研究分野（英語表記）

Personnel Economics, Labor Economics, Industrial Relations

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

ミクロ経済学や計量経済学など労働の実証研究のための基礎科目を受講した後の M2 年次からの履修が望ましい。

V. ゼミ選考期間

私のゼミへの参加希望者は、メール（tsuru@ier.hit-u.ac.jp）を送って下さい。

VI. 指導方針

ゼミでは、春・夏学期はじめに研究計画書を提示して頂く。文献レビュー・重要論文の精読を中心におこなう。秋・冬学期は履修者の論文報告を中心とする。研究者養成コースの学生は月に1回程度で研究経過報告をしてもらう。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

個別に伝える。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

個別に伝える。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

個別に伝える。

X. 詳細リンク先 URL

手島 健介 TESHIMA Kensuke 総合経済学専攻 月曜 2時限

I. 主な担当科目

上級開発経済学 D

II. 研究分野

開発経済学、国際貿易

III. 研究分野（英語表記）

Development Economics, International Trade

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

- ・研究課題が私自身指導可能であること（開発経済、国際貿易論）。
- ・研究者養成コースは上級ミクロと上級計量経済学。修士専修コースは中級ミクロと中級計量経済学（中級レベルを上級レベルで代替することは可）。
- ・Stata で基礎的なプログラミングが行えること。
- ・専門に応じて「ワークショップ／リサーチ・ワークショップ（日本・アジア経済）」か「ワークショップ／リサーチ・ワークショップ（国際貿易・投資）」を併せて履修すること。
- ・国際経済政策論 I を履修済みであることが望ましい。

V. ゼミ選考期間

入ゼミを希望する者は、2019年3月中にメールで連絡すること。M2から入ゼミを希望する者は、M1の2月中にメールで連絡すること。

VI. 指導方針

修士1年次は、コースワークに集中することが望ましいので、原則聴講のみとします（単位は出しません）。ゼミでは、学生の研究希望トピックの重要文献を報告してもらったり、研究進捗の報告をしてもらいながら研究指導を進めていきます。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級ミクロ、上級計量においてB以上の成績。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験のミクロ経済学と統計学・計量経済にパスすること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

上級国際経済学Ⅰ（あるいは国際経済政策論Ⅰ）、上級国際経済学Ⅱ、上級開発経済学D（かE）でB以上の成績。

X. 詳細リンク先 URL

富浦 英一 TOMIURA Eiichi 総合経済学専攻 木曜 4時限

I. 主な担当科目

日本経済論

II. 研究分野

日本の企業・産業データを用いた貿易関連の計量実証分析

III. 研究分野（英語表記）

Econometric empirical analyses of international trade based on Japanese industry and firm-level data

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

ミクロ経済学、計量経済学

V. ゼミ選考期間

M1の2月

VI. 指導方針

学生が自分で統計データを用いた計量実証分析を行えるよう指導を進めます。国際経済学の先生方（石川先生、杉田先生）と共同で開講しますが、必要に応じて個別指導も行います。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

計量経済学でB以上の成績

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

統計学・計量経済学の合格

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

日本経済論でB以上の成績

X. 詳細リンク先 URL

友部 謙一 TOMOBE Kenichi 総合経済学専攻 月曜 5時限

I. 主な担当科目

日本経済史

II. 研究分野

近世以降の数量社会経済史

III. 研究分野（英語表記）

Quantitative socio-economic history of Japan since the Tokugawa era

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

1年次より登録・履修をすること。参加者は近世の古文書読解を必修とするので、未修者はその習得に努力することがまず必要になるが、専用のテキストでトレーニングする。恐れることはない。

V. ゼミ選考期間

当該年度4月の履修登録期限まで。希望者は事前に連絡すること。

VI. 指導方針

ゼミでは、各人の地域・歴史研究の成果報告を行う一方で、近世以降の数量史料を使いながら小規模な共同研究を行い、必要なディシプリンや数量的手法を習得する。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

比較経済史に合格していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

経済史に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

中村 良太 NAKAMURA Ryota 総合経済学専攻 木曜 5時限

I. 主な担当科目

医療経済分析、医療経済学セミナー

II. 研究分野

医療経済学、保健政策

III. 研究分野（英語表記）

Health Economics, Health Policy

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

大学院レベルのミクロ経済学と計量経済学の知識があること。医療や保健の知識は要件としない。

V. ゼミ選考期間

履修登録期間前日まで。メール（ryota.nakamura@r.hit-u.ac.jp）で面接の予約をすること。

VI. 指導方針

政策研究分野において英語で研究論文を作成し、発表できるようになるための訓練をする。具体的な指導内容は履修者と相談して決める。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

「上級ミクロ経済学」及び「上級計量経済学」の2科目で「B」以上の成績をおさめること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験において「ミクロ経済学」と「統計学・計量経済学」の2科目に合格すること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

なし

X. 詳細リンク先 URL

<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>

中山 能力 NAKAYAMA Chikara 総合経済学専攻 木曜 2時限

I. 主な担当科目

数理構造 I・II、代数学 I・II、幾何学 I・II

II. 研究分野

代数学（数論幾何）

III. 研究分野（英語表記）

Algebra (arithmetic geometry)

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

原則として1年次から履修すること。

微分積分 I・II、線型代数 I・II 以外に、代数学、幾何学、解析学のいずれかを履修していることが望ましい。

V. ゼミ選考期間

当該年度4月の履修登録期限まで。希望者は事前に連絡すること。

VI. 指導方針

標準的なテキストの講読からはじめ、研究を行なうことを目標とする。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

特になし。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

いずれか1科目以上に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

特になし。

X. 詳細リンク先 URL

西出 勝正 NISHIDE Katsumasa 総合経済学専攻 火曜 3時限

I. 主な担当科目

ファイナンス経済論 A・B

II. 研究分野

金融工学、金融経済学

III. 研究分野（英語表記）

Finance, Financial Economics, Financial Engineering

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

担当教員と同じ研究分野（確率微分方程式など数学を用いた金融証券理論）に関心を持つ学生。原則として修士1年次からゼミを履修すること。修士2年次からの入ゼミは認めない。

V. ゼミ選考期間

2019年4月1日～7日の間に電子メールでアポイントメントを取ること。その後、面談の日程を決める。

VI. 指導方針

修士課程：ファイナンス分野の大学院修士レベルの教科書の輪読、研究テーマ選び。M2は修士論文作成の指導。

博士後期課程：論文作成の指導。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級ミクロ経済学、上級マクロ経済学、上級計量経済学のうち少なくとも二つ以上をB以上で合格していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学のうち少なくとも二つ以上のコンプに合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

400番台と500番台のファイナンス経済論、確率論の講義を履修しB以上で合格していること。またはそれと同等の能力があると認められること。

X. 詳細リンク先 URL

<http://www1.econ.hit-u.ac.jp/nishide/>

橋沼 克美 HASHINUMA Katsumi 総合経済学専攻 月曜 5時限

I. 主な担当科目

各国経済思潮 A

II. 研究分野

英国 17・18 世紀の思想と文化

III. 研究分野（英語表記）

17th and 18th century English thought and culture

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

V. ゼミ選考期間

4月中（履修登録期限まで）

VI. 指導方針

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

深尾 京司 FUKAO Kyoji 総合経済学専攻 金曜 2時限

I. 主な担当科目

マクロ経済学

II. 研究分野

産業および企業レベルの生産性分析、日本とアジアの長期経済統計、直接投資と貿易

III. 研究分野 (英語表記)

International Economics, Macroeconomics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級レベル以上のミクロ、マクロ、計量経済学の知識を有していること。

V. ゼミ選考期間

4月履修登録期限まで

VI. 指導方針

原則として2年次から履修

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件 (コア科目)

上級マクロ経済学、上級ミクロ経済学、上級計量経済学のうち2つ以上履修していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件 (進学資格試験・編入学試験)

マクロ経済学のコンプに合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件 (その他の科目)

X. 詳細リンク先 URL

堀 雅博 HORI Masahiro 総合経済学専攻 木曜 3時限

I. 主な担当科目

公共部門の経済学、租税システムの経済分析、社会保障システムの経済分析

II. 研究分野

日本・アジア経済論、計量実証分析、政策効果分析

III. 研究分野 (英語表記)

Japanese economy, Asian economy, Applied Econometrics, Policy Analysis

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

None in particular, though in principle, this seminar is for those students who studied at the Asian Public Policy Program of the School of International and Public Policy and then have been accepted in the Ph.D. course.

V. ゼミ選考期間

Anytime upon request

VI. 指導方針

Help students draft their thesis on macroeconomics and monetary economics.

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件 (コア科目)

N.A.

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件 (進学資格試験・編入学試験)

N.A.

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

N.A.

X. 詳細リンク先 URL

本田 衛子 HONDA Eiko 総合経済学専攻 火曜 1 時限

I. 主な担当科目

II. 研究分野

社会保障論

III. 研究分野（英語表記）

Social Security

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

V. ゼミ選考期間

4 月履修登録期限まで

意識の齟齬発生を防ぐために、個別に面談を行います。事前にメール (ehonda8365@ier.hit-u.ac.jp) でアポイントメントを取って下さい。

VI. 指導方針

副ゼミとしての開講になります。この点に注意して下さい。

具体的な進め方は受講者と相談しながら決めます。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

本田 敏雄 HONDA Toshio 総合経済学専攻 木曜 4 時限

I. 主な担当科目

統計学 I・II、確率・統計特論、基礎計量経済学

II. 研究分野

数理統計学、計量経済学

III. 研究分野（英語表記）

Mathematical Statistics, Econometrics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

基礎的な統計学、計量経済学の知識があること。具体的には、300 番台の統計学または 400 番台の中級計量経済学を A の成績で合格しているか、それと同等の能力があること。数学的な理論研究が中心なので、基礎的な微積分、線形代数の知識も必須である。

V. ゼミ選考期間

修士課程の主ゼミについては M1 からの指導が基本である。2019 年度は M2 からの主ゼミ指導も 1 名に限り検討します。主ゼミとしての受講を希望する者は、とりあえずでもよいので経済学研究

科のガイダンスの翌々日には電子メールで連絡してくることを。面談をします。副ゼミとしての受講については M1 以外からでも可とする。登録終了の 4 日前には電子メールで連絡してくることを。面談をします。

VI. 指導方針

修士課程：数理統計学の大学院修士レベルの教科書（漸近理論に関するもの）の輪読、研究テーマ選び。M2 は修士論文作成の指導。

博士後期課程：論文作成の指導。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級計量経済学を A で合格。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

統計学・計量経済学の進学資格試験に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

400 番台と 500 番台の統計学、確率論の講義を履修し B 以上で合格していること。またはそれと同等の能力があると認められること。

X. 詳細リンク先 URL

http://www1.econ.hit-u.ac.jp/honda/seminar_grad_2018.pdf

Philip C. MacLellan 総合経済学専攻 木曜 3 時限

I. 主な担当科目

II. 研究分野

行動経済学、質的研究、事例研究、社会的学習理論、第二言語習得

III. 研究分野（英語表記）

Behavioral Economics, Qualitative and Case Study Research, Social Learning Theory, Second Language Acquisition

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

The language of this seminar is English. First year Masters students and beyond who are capable of reading English research papers independently and discussing actively are welcome to join.

V. ゼミ選考期間

Before the end of the registration period, contact me via e-mail with your cv, transcript, short bio, research interest and working sample if any.

VI. 指導方針

By reading and discussing empirical literature and reports of student in-progress research, economics concepts and methods will be internalized. This seminar starts from the 1st year of the Master's program. First year Masters students will prepare for their thesis (choosing the theme, developing a research question, choosing an appropriate methodology, collecting data). Second year Master's students will present and discuss their research and draft the Master's thesis. Students would also benefit from the graduate level Research Writing and Academic Presentations skills courses.

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

Excellent results in at least 2 core courses

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

Good grades in comprehensive qualifying exams and entrance exams for doctoral study

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

N.A.

X. 詳細リンク先 URL

増田 一人 MASUDA Kazuya 総合経済学専攻 月曜 1時限

I. 主な担当科目

上級開発経済学 C

II. 研究分野

開発経済学、医療経済学、教育の経済学、栄養疫学

III. 研究分野（英語表記）

Development Economics, Health Economics, Economics of Education, Nutrition Epidemiology

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

ミクロ経済学と計量経済学について大学院生として中級程度の知識をもっていること。

V. ゼミ選考期間

当該年度 4 月の履修登録期限までに面談を行います。希望者は事前にメールで連絡をしてください。

VI. 指導方針

修士の 1 年次はコア科目等の取得に集中すべきとの考えから、ゼミは聴講のみ（単位を出さない）を認めます。

単位を出す履修としての研究指導は、コア科目等を通じて必要な基礎知識を取得した後、通常は修士 2 年次より行ないます。

具体的な内容については履修者と相談の上、決定します。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

ミクロ経済学と計量経済学のコア科目、両方を履修・合格していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験（コンプ）の「ミクロ経済学」「統計学・計量経済学」の 2 科目に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

特になし。

X. 詳細リンク先 URL

松下 幸敏 MATSUSHITA Yukitoshi 総合経済学専攻

I. 主な担当科目

基礎計量経済学、上級計量経済学

II. 研究分野

計量経済学

III. 研究分野（英語表記）

Econometrics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

300 番台の統計学または 400 番台の中級計量経済学を A の成績で合格しているか、それと同等の能力があると認められること。微積分、線形代数の基本的な知識があること。

V. ゼミ選考期間

2019 年度は在外研究のため、新規受け入れを行わない。

VI. 指導方針

修士 1 年ではテキストの輪読、2 年次以降は関連文献を読み、報告する。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級計量経済学を A で合格していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

統計学・計量経済学の進学資格試験に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

400 番台と 500 番台の統計学、確率論の講義を履修し B 以上で合格しているか、それと同等の能力があると認められること。

X. 詳細リンク先 URL

真野 裕吉 MANO Yukichi 総合経済学専攻 木曜 3 時限

I. 主な担当科目

地域研究方法論

II. 研究分野

開発経済学、地域経済学、応用ミクロ経済学

III. 研究分野（英語表記）

Development Economics, Regional Economics, Applied Microeconomics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

1. 研究活動や論文執筆にあたっての倫理、ルール、マナーを理解していること。日本学術振興会の『科学の健全な発展のために：誠実な科学者の心得』（<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>）を熟読しておくこと。さらに、図書館主催の「レポート・論文の書き方」講習会を受講していることが望ましい。

2. 研究課題が私自身指導可能であること（開発経済、地域経済、応用ミクロ）。

3. ミクロ経済学と計量経済学について大学院生として中級程度の知識をもっていること。

4. 定量的な分析をおこなう場合は、Stata や R などの統計処理アプリケーションで、基礎的なプログラミングが行えること。

V. ゼミ選考期間

当該年度 4 月の履修登録期限までに面談を行います。

希望者は事前にメール (yukichi.mano@r.hit-u.ac.jp) で連絡し、志望動機と以下の要件を満たす研究計画書を送って下さい。

研究計画書の要件： 1) 修士論文のテーマ候補（関心事項）となる候補を 3 個。 2) それぞれについて、(1) 目的・課題、(2) 背景・動機、(3) (可能なら) 利用可能なデータ、(4) 主な先行研究を示す（箇条書きでよい）。その後、個別面談を行います（成績表を用意すること）。

VI. 指導方針

修士1年次は、コースワークに集中することが望ましいので、原則聴講のみとします（単位は出しません）。ゼミでは、関連する研究論文の輪読・プレゼンテーション、受講者自らの研究（経過）報告やディスカッションを行います。Powerpoint等の視覚資料の作り方や、プレゼンの仕方についても指導します。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

ミクロ経済学と計量経済学のコア科目、両方を履修・合格していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験（コンプ）の「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「統計学・計量経済学」の中の少なくとも2科目に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

開発経済学関連の科目（上級開発経済学、開発政策論、地域経済論、移行経済論、比較経済発展論、地域開発論など）を少なくとも1科目履修・合格していること。

X. 詳細リンク先 URL

なし

南 裕子 MINAMI Yuko 総合経済学専攻

I. 主な担当科目

各国経済思潮 B

II. 研究分野

現代中国社会学論

III. 研究分野（英語表記）

Chinese society

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

現代中国にかかわるテーマで、社会学や政治学的な視点も取り入れた研究論文の作成に取り組もうとしていること。中国語の文献講読の能力も一定程度あることが望ましい。

V. ゼミ選考期間

2019年度はサバティカルのため新規受け入れを行いません。

VI. 指導方針

各自の研究報告と討論。参加者との相談により、輪読を行う場合もある。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

なし

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

なし

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

なし

X. 詳細リンク先 URL

望月 政志 MOCHIZUKI Masashi 総合経済学専攻 火曜 4 時限

I. 主な担当科目

II. 研究分野

食料環境経済学、水産経済学

III. 研究分野（英語表記）

Food and Environmental Economics, Fisheries Economics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

食料・環境問題や農林水産業問題に関心を持つ学生。ミクロ経済学、計量経済学の基礎的な理論を理解していること。ゼミの定員は、数名程度とする。

V. ゼミ選考期間

4 月中（履修登録期限まで）に面接によって決定する。参加希望者は事前にメールで面接のアポイントメントを取ること。

VI. 指導方針

副ゼミとして開講する。具体的な進め方は、参加者と相談の上、決定する。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

森 宜人 MORI Takahito 総合経済学専攻 金曜 4 時限

I. 主な担当科目

西洋経済史、比較経済史

II. 研究分野

西洋経済史、ドイツ近代都市経済史

III. 研究分野（英語表記）

European Economic History, Urban History of Germany

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

原則として1年次より履修すること。

対象とする地域の言語を一定程度すでに習得していること、ないし習得する意欲のあること。

V. ゼミ選考期間

4月の履修登録期間内

VI. 指導方針

履修者各自の研究報告を主体としつつ、適宜、履修者全員が関心を共有し得る文献の輪読を行い、西洋経済史の実証的な研究手法の習得を目指す。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

「比較経済史」の単位を修得していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

「経済史」に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

特になし。

X. 詳細リンク先 URL

https://hri.ad.hit-u.ac.jp/html/100000122_profile_ja.html

森口 千晶 MORIGUCHI Chiaki 総合経済学専攻 木曜 2時限

I. 主な担当科目

比較経済発展論

II. 研究分野

比較経済史、比較制度分析、制度と組織の経済学、家族の経済学、健康の経済学

III. 研究分野（英語表記）

Economic History, Comparative Institutional Analysis, Economics of Organizations and Institutions, Family Economics, Health Economics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

1. 大学院生としての倫理とルールを理解していること。
2. 経済史または比較制度分析に深い関心があり、ミクロ経済学と計量経済学について大学院初級以上の知識をもっていること。
3. 修士1年秋に「比較経済発展論」を受講すること。
4. ゼミ履修時にリサーチ・ワークショップ（日本・アジア経済）もあわせて履修すること。

V. ゼミ選考期間

4月の履修登録期限までに面接によって決定する。

事前に研究計画（希望する研究テーマおよびその目的と意義）をメールで chiaki@ier.hit-u.ac.jp に送ること。

VI. 指導方針

修士1年の場合は、研究テーマに関連する文献を読み、修士2年の場合は研究指導を行う。

文献は英語のものを読み、英語で討論する練習も行う。

英語による指導も可能。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

ミクロ経済学と計量経済学のコア科目を履修・合格していることが望ましい。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験（コンプ）の「経済史」「ミクロ経済学」「統計学・計量経済学」の3科目のうち、少なくとも2科目に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/faculty/moriguchi.html>

I. 主な担当科目

II. 研究分野

産業組織論、組織経済学

III. 研究分野（英語表記）

Industrial Organization, Organizational Economics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級以上のミクロ経済学を履修していること。ゲーム理論に関する基礎的事項を理解しており、基礎的な微積分の知識を有すること。ミクロ理論・ゲーム理論の現実問題への応用分析に興味があり、煩雑な数学的分析を厭わないこと。「応用ミクロ経済学 D」をすでに履修している、または履修することが望ましい。熱意のある院生、社会経験のある院生を歓迎します。

V. ゼミ選考期間

2019年4月の履修登録期限前に面接選考を行います。できるだけ早く、遅くとも4月の第1金曜日午後5時までに、メール(hodakamorita@gmail.com)でどのようなテーマで研究したいのかを伝えてください。こちらから面接日時を連絡します。

VI. 指導方針

履修は1年次からでも2年次からでも可。自分の研究関心が明確になっていることが重要（特に1年次からの場合はこの点注意）。博士後期課程への進学（海外の大学を含む）を希望する院生、研究者を目指す院生を歓迎。まず、ミクロ理論・ゲーム理論の現実問題への応用分析（主に産業組織論、組織経済学、人的資本論の分野で）の手本となるような論文をいくつか輪読する中で、それぞれの院生が各自のテーマを設定します。次に、各自のテーマに合わせて、関連する論文を批判的に読み、独自の理論モデルをいかに構築し分析すべきかを議論します。そして、理論モデルの分析・修正を繰り返して論文を完成させてゆきます。それらの過程を通じて、現実問題を踏まえて理論モデルを構築し適切に分析する力、理論分析結果の背後にある論理・直感を理解し経済政策・経営戦略などへの含意を探求する力、さらにはそれらの結果をわかりやすく論文に表現する力を養います。これらの課題に対し、院生各自が自主性と熱意を持って取り組むことが重要です。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

中級以上のミクロ経済学を履修していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

ミクロ経済学の進学資格試験に合格すること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

個別に伝える。

X. 詳細リンク先 URL

私自身の研究関心や業績については以下のリンクを参照のこと。

<https://sites.google.com/site/hodakamorita/>

I. 主な担当科目

財政学、公共経済学

II. 研究分野

社会政策、民営化、税制

III. 研究分野（英語表記）

Social Policy, Privatization, Tax System

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級以上のミクロ経済学、マクロ経済学の2科目を履修し、各科目「B」以上の成績をおさめていること。中級以上の計量経済学を履修し、「B」以上の成績をおさめていることが望ましい。

V. ゼミ選考期間

2月～4月。上記の要件が満たされていることを前提に、メール（yamashig@econ.hit-u.ac.jp）でのアポイントメントを通じて、個別に面談・選考を行う。

VI. 指導方針

原則として初年次からの履修を認めない。ただし、すでに独自の研究を行えると思われるものは、初年次からの履修を認める場合もある。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

①「上級ミクロ経済学」および「上級マクロ経済学」、②中級あるいは上級計量経済学のいずれか1科目、合計3科目以上を履修し、すべての科目にわたって「B」以上の成績をおさめていること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学の3科目中2科目の進学資格試験に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

「公共経済学Ⅰ、Ⅱ」を履修し、「B」以上の成績をおさめていること。

X. 詳細リンク先 URL

山下 英俊 YAMASHITA Hidetoshi 総合経済学専攻 木曜 2時限

I. 主な担当科目

資源経済学（学部共通）、環境・資源経済分析 B、自然資源経済論 B（学部共通）

II. 研究分野

資源経済学、廃棄物・リサイクル政策、エネルギー政策、マテリアル・フローの政治経済学

III. 研究分野（英語表記）

Resource Economics, Waste Management and Recycling Policy, Energy Policy, Political Economy of Material Flow

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

修士課程1年次4月からの参加を原則とする。

希望者は事前に hide@econ.hit-u.ac.jp まで連絡を取ること。

V. ゼミ選考期間

4月11日（木）10時より、研究室にて新規ゼミ履修希望者に対する面接を行う。

VI. 指導方針

具体的な問題意識を持つこと。

それを研究の俎上に載せる方法を身につけること。

修士課程の最低限の到達目標は上記2点。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

コア科目中最低 2 科目は、優秀な成績を収めること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験・編入学試験に良好な成績で合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

環境経済学、上級環境経済学 I、資源経済学、上級資源経済学 I、環境・資源経済分析の各講義を履修し、優秀な成績を収めること。

X. 詳細リンク先 URL

山田 俊皓 YAMADA Toshihiro 総合経済学専攻 木曜 5 時限

I. 主な担当科目

計量ファイナンス特論 A

II. 研究分野

確率解析、金融工学、数理ファイナンス

III. 研究分野（英語表記）

Financial Engineering, Mathematical Finance, Stochastic calculus

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

ゼミは数名程度を定員とする。

V. ゼミ選考期間

学生は履修登録期間前に連絡してくること。

VI. 指導方針

金融工学、数理ファイナンス、確率解析等のテキストを基礎から学ぶ (M1)。修士論文では、実務の数理的問題や分野の先端の話題を扱えるように指導する (M2)。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

指定は特にない。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

いずれか 1 科目以上に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

計量ファイナンス特論 A を優秀な成績で合格しているか関数解析・確率解析の基礎を正しく理解していること。

X. 詳細リンク先 URL

山本 庸平 YAMAMOTO Yohei 総合経済学専攻 金曜 3 時限

I. 主な担当科目

上級計量経済学、中級計量経済学、確率・統計

II. 研究分野

計量経済学、時系列分析、マクロ経済・国際金融・ファイナンスへの応用

III. 研究分野（英語表記）

Econometrics, Time Series Analysis, Applied Macroeconomics/Financial Econometrics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

統計学および計量経済学の基礎的な理論を理解していること（上級計量経済学で B 相当）。

V. ゼミ選考期間

4月5日（金）から4月11日（木）

VI. 指導方針

春・夏学期は基礎知識の習得（教科書や論文の輪読など）を行い、その後に論文作成の指導に移行する。詳細は参加者と相談の上決定する。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級計量経済学、上級ミクロ経済学、上級マクロ経済学を芳しい成績で合格していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

「統計学・計量経済学」の進学資格試験に合格すること。独力で学術的研究を進める強い意欲があること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL

渡辺 智之 WATANABE Satoshi 総合経済学専攻 金曜 4時限

I. 主な担当科目

租税論（国際・公共政策大学院）、法と経済学（国際・公共政策大学院）など

II. 研究分野

租税政策、税務戦略、租税法

III. 研究分野（英語表記）

Tax Policy, Tax Strategy, Tax Laws

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

中級以上のミクロ経済学、マクロ経済学の2科目を履修し、各科目「B」以上の成績をおさめていること。中級以上の計量経済学を履修し、「B」以上の成績をおさめていることが望ましい。

V. ゼミ選考期間

4月10日まで（予め satoshiw@econ.hit-u.ac.jp まで連絡すること）

VI. 指導方針

原則として初年次からの履修を認めない。ただし、すでに独自の研究を行えると思われるものは、初年次からの履修を認める場合もある。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

①「上級ミクロ経済学」および「上級マクロ経済学」、②中級あるいは上級計量経済学のいずれか1科目、合計3科目以上を履修していること。すべての科目にわたって「B」以上の成績をおさめていること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学の中から2科目について合格すること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

「公共経済学Ⅰ、Ⅱ」を履修し、「B」以上の成績をおさめていること。

X. 詳細リンク先 URL

I. 主な担当科目

計量ファイナンス A

II. 研究分野

ファイナンスとマクロ経済学の計量分析

III. 研究分野（英語表記）

Econometric Analysis of Finance and Macroeconomics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

統計学、計量経済学に関する基礎的事項を理解していること。

V. ゼミ選考期間

2019年4月中（履修登録期限まで）

VI. 指導方針

原則として2年次からの履修とするが、やる気がある学生であれば1年次からでも履修を可とする。ゼミ生各自の論文や各自の研究に関連する計量ファイナンスもしくはマクロ計量の論文を報告してもらい、議論する。必要であれば、コンピューター・プログラミングの演習も行う。

VII. 博士後期課程への進学・編入学要件（コア科目）

上級計量経済学の単位を取得していること。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

「統計学・計量経済学」の進学資格試験（コンプ）に合格していること。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他の科目）

X. 詳細リンク先 URL